

観音供養祭

四月十六日午前十一時よりお寺入口にある観音尊前にて読経供養。随喜寺院、総代、役員、梅花講員、参詣者六十名にて開催した。湖彦観音御詠歌「ありがたや、湖彦の山の観世音、慈悲のみ光り照らしまします」で始まり、三拝、般若心経、観音経を読誦後、観世音菩薩御和讃を奉詠して、回向、三拝にて終了。

広蔵寺弟子・神田秀孝、法戦式修行

五月十五日、十六日神林村七湊、海蔵寺様にてご縁を結ぶ。

(1ページ写真、文) お寺より総代四名出席。



大般若法要

期日 六月二十日(日) 午前十時三十分法要開始

内容 転読大般若祈禱、檀信徒先祖供養、法話、おとき

* 参加者は祈禱料お志願いたします。

梅花だより(御詠歌講)

▼十月一日新潟県梅花流奉詠大会が新潟テルサを会場に開催される。主催は新潟県第一・二・三・四各宗務所。参加人数は合計で一、五〇〇名。第四宗務所は五登壇で、十七教区は二十一、二十三教区合同で計一四一名の登壇。奉詠曲は「大本山總持寺二祖国師讚仰御詠歌(永光ようこう)」。總持寺開山瑩山禪師のお弟子で總持寺二世峨山禪師を讃える御詠歌です。

「あな尊瑩峨二尊の月と日は」

鶴見が丘に今も輝く」

なんと尊いことだろう。瑩山さまと峨山さまのご威徳、その教えは太陽と月のように鶴見が丘の總持寺に今も輝いている。

梅花流詠歌(御詠歌)はお釈迦さま、道元さま、瑩山さまを讃え、ご先祖さまを敬うところを唱えます。その歌は日本の風土と暮らしの中で生まれたメロデーです。やさしく穏やかな曲で、唱えやすく安らかなところが生まれ、新たな感動がわいてきます。

御詠歌の会は月二回、午後一時より四時までです。どなたも参加できます。御詠歌を通して仏の教えを学びませんか。

インターネット 広蔵寺ホームページ <http://www.kogonji.jp/>

歴史・行事・活動・Photo・永代墓地案内・仏事の知識・寺だより・御詠歌・押絵等